

冬季訓練を実施しました

当発電所は、冬季特有の厳しい環境下においても、各種安全対策が有効に機能することを確認するとともに、各種手順のさらなる習熟を図るため、屋外での冬季訓練を実施しました。

今後も、冬季や夜間・休日等、さまざまな状況を想定した訓練を繰り返し、緊急時の対応力の向上に努めてまいります。

【主な訓練項目】

●水源確保訓練（3月2日）

原子炉や使用済燃料プールへの注水に必要な水源を確保するため、河川から取水する訓練



敷地内を流れる小老部川からの取水

●注水訓練（3月2日）

消防車を用いて原子炉や使用済燃料プールに注水する訓練



防火水槽から取水し原子炉等へ注水

●電源確保訓練（3月2日）

電源車から発電所設備へ電源供給を行う訓練



電源車の移動および起動、受電の操作

●アクセスルート確保訓練（2月10日）

電源車や消防車等の移動に必要なルートを確認するため、がれき等を撤去する訓練



ホイールローダでがれき等を撤去

自己啓発に励む所員をご紹介します

当発電所では、所員自らが自己の能力を高め、日常業務における専門性の向上を図るとともに、万一、原子力災害が発生した場合の原子力防災要員としての的確に対処できるよう、各種公的資格の取得に力を入れています。

平成27年（1月～12月）は、70名の所員が各種資格を取得しました。

【資格取得者から一言】

資格名 「水質関係 第1種公害防止管理者」

私は環境放射線モニタリングに関する業務を担当していますが、発電所や工場などの水の処理方法等について学んでみようと思い、資格取得に挑戦しました。資格取得に向けて、通勤時間も利用して毎日コツコツと学習を進めました。今後も、幅広い知識を持ち、信頼される技術者になれるよう努力していきたいと考えています。



放射線管理課 鎌田圭史

資格名 「第1種電気主任技術者」



発電管理課 須東良博

大きな電力を扱う発電所の運転員として電気の知識が必要だと考え、試験合格を一つの目安に学習を始めました。試験には合格しましたが、今後も電気について学び続けるのはもちろん、業務の幅を広げられるよう専門外の知識についても積極的に学んでいきたいと考えています。

資格名 「第2種放射線取扱主任者」

仕事の中で、放射線管理区域内での作業や、放射性同位元素を用いる点検作業があり、作業される皆さんの被ばく低減や安全を管理するにあたり、資格の取得が有効だと感じたことがきっかけです。資格取得にあたり、帰宅後の時間や休日の空き時間を活用し学習を進めました。今後は、第1種放射線取扱主任者の取得を目指したいと考えています。



電気保修課 田村文伸

資格名 「大型特殊免許」



機械保修課 渡邊彬仁

地震・津波等の被害があった際に、緊急安全対策要員として、ホイールローダ等を運転することから、資格を取得しました。資格取得時の教習では、所内での練習とは勝手が違い大変でしたが、今後とも所内の訓練を通じ、技術の維持向上を図り、緊急時も迅速な対応ができるよう備えたいと考えています。